


観光社会資本の事例

テーマ	人と火山が共生できる環境づくり
【施設の状況写真】 <div data-bbox="231 392 746 772"></div> <div data-bbox="220 795 794 940"><p>雄大な桜島をバックにたたずむ国際火山砂防センター。センター内の展望室は桜島観察の絶景ポイントです。</p></div> <div data-bbox="845 398 1396 766"></div> <div data-bbox="861 795 1412 940"><p>正面玄関から見える中の様子。桜島火山のマスコット「火山くん、マグマちゃん、ゴロー君」たちが出迎えてくれます。</p></div>	
【施設の利用写真】 <div data-bbox="231 1030 699 1377"></div> <div data-bbox="220 1400 762 1534"><p>地域の小・中学校の総合学習の場として利用されています。 只今、土石流と力比べ中!!!</p></div> <div data-bbox="842 1025 1324 1384"></div> <div data-bbox="829 1400 1348 1512"><p>防災診断Q&Aで防災について勉強する家族。どのくらい答えられるでしょうか？</p></div>	
【観光資源としての利用状況】 <p>国際火山砂防センターは、鹿児島を代表する桜島火山の麓、国道224号線沿いにあります。1階部分は応急復旧や情報収集等に供する車両を収容するピロティー、2階部分は火山活動時や土石流発生時などの緊急時避難場所、3階部分は火山災害及び土石流の集中監視室となっています。</p> <p>また、平常時は2階を火山・砂防・防災テーマとした体験型の展示室として利用しており、平成11年6月のオープン以来、年平均1万人以上の来館者が訪れています。来館者は観光客だけにとどまらず、地域の小・中学校の総合学習の場としても利用されています。</p>	

テーマ	人と火山が共生できる環境づくり
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 桜島国際火山砂防センター</p> <p>○所在地 鹿児島県鹿児島市野尻町203-1</p> <p>○事業名 砂防事業</p> <p>○事業主体 国土交通省大隅河川国道事務所・鹿児島県・鹿児島市・旧桜島町</p> <p>○事業期間 平成4年～平成11年</p> <p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○ 防災情報の一元管理・情報発信施設 桜島島内の雨量、土石流、監視映像などの情報を一カ所で集中監視し警戒避難に役立てています。</p> <p>○ 工事関係者等の避難施設 災害時には、2階の避難所は200名が収容可能で、避難所用品を準備しています。</p> <p>○ 火山・土石流・砂防事業の防災に関する啓発のための展示施設 なかなかイメージしにくい防災を肌で感じてもらうために、土石流のパワーを実感できる土石流のメカニズム、災害に対する日頃の準備と心構えの大切さが分かる防災情報シミュレーションなどの6つのゾーンがあります。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 桜島国際火山砂防センター http://www.sivsc.jp/</p>	